

令和5年度あしたのまち・くらしづくり活動賞 主催者賞受賞

ひとり親や生活困窮家庭への食糧支援など

愛知県日進市 日進絆子ども食堂

「すべての子どもたちの笑顔のために」は、

日進絆子ども食堂の代表理事の山崎の口癖です。2017年に子ども食堂を立ち上げてから食事の提供から始まりフードパントリーや収穫体験、宅食、BBQ、7周年感謝祭などを計画、実施してきました。活動には地域のボランティアや大学、市との連携で多くの仲

7周年感謝祭
7th anniversary thanksgiving

日時：令和5年5月5日(金)
10:30~16:00

会場：日進市民会館小ホール

来場プレゼント！
1.ハンダアート2000円分
2.スペシャルハンドリーク物1

10:00 開場
10:30 スタート
11:00 大須野人によるパフォーマンス
11:30 スターツパフォーマンス みんなで文芸の時間だろ！
12:00 日進絆子ども食堂の活動紹介
13:00 みんなで文芸の時間だろ！
14:30 雑談会、ボードゲーム
16:00 終了

主催：日進絆子ども食堂
いきいき塾NPO経

日進絆子ども食堂主催のイベント

間と行ってきました。

行政の委託事業ではないため安定的に人・物・金の捻出のために新聞やテレビへの取材を積極的に受けています。こうした活動は子ども食堂の活動を多くの方に理解や興味を持つってもらうことにつながると考えています。また企業や個人へご協力願うための子ども食堂より提案や打ち合わせなども行っています。

2021年には日進市内のファミリーマート三本木町店で、365日24時間のフードドライブのご提案を承諾、開始いただき現在では全国2000軒のファミリーマートで展開中です。コンビニフードドライブの先駆けともなり、広く認知いただき毎月たくさんの方の物資を多くの方から寄せていただいております。5月には新たに小学校のPTAとフードド



ファミリーマート店での食品寄付

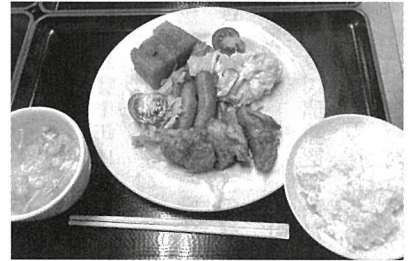
ライブを計画し、市内4校へ運動会の開催に合わせて周知活動を展開しました。当日は段ボール10箱分の食品が集まり関心の高さを実感しました。また、今年からひとり親家庭や



生活困窮家庭への支援をするため宅食を始めることになり、ボランティア養成講座を昨年2回に分けて行い12名の方に参加いただきました。月に1度食糧をお届けすることで、問題を抱えている方へ市や民間団体へ問題解決のための橋渡し役をしたという目的も含まれています。この活動は始まったばかりで、まだまだボランティアの育成のための勉強が必要と考えています。7月には日進市内の三つの公共施設での食品寄付を始めることになりました。今後は食品配布の場として活動を広げていく予定です。

子ども食堂を運営するにあたり、様々な課題があり、必要に応じて勉強会や講習会に参加、企画しています。例えば大学で講師として招かれ学生に子ども食堂のことを紹介する機会が年に何度もあり、若い世代の理解のために訪問しています。6月には宅食の勉強会を他の団体と共に開催し、40名の参加者に代表が講師を行いました。

活動メンバーは地元の定年退職者であったり、学生、主婦であったりと幅広い年齢の方々です。長年活動に参加してもらえらるのも「すべての子どもの笑顔」であると思います。特に高齢の方においては生きがいややりがいが見出されているのではと熱心な姿に「社会から必要とされている」満足な思いがあります。常に子ども食堂にできることはと活動して



子ども食堂 食事提供

いるため、様々な分野の方との交流にも熱心です。最近では教育の支援をと考えており人とのつながりや新たな活動が始まるようです。

月に一度開催し食事の提供を毎回50食ほどご用意しています。交流の場を設けることで子育てに悩むご家庭への相談先としての役割も担っていると考えています。同時にフードドライブで食糧配布を行いこちらも30家庭分用意しています。食品寄付やパンのチケットを寄付頂き企業や個人など様々な方からの支援をいただいております。

体験会では個人宅でのBBQやドラム缶風呂などを提供いただきました。毎回好評です。年末にはクリスマス臨時パントリーとして市内のファミリーマート4店舗の協力のもとクリスマスケーキとフライドチキンの配布を行っています。

体験格差是正のために、9月、知多半島山海岸の地引網体験に親子50名をご招待し、捕れた魚をみんなでいただきました。後日お礼状がひとり親家庭の親子4人のご家族から

届きました。

「子どもたちに初めて海を見せることができました」

実施して初めてわかることでしたが、ひとり親は忙しさで今まで海に子どもを連れて出かける機会がなかったそうです。大変驚きました。今後も子どもたちの意見を聞きながら、体験学習を続けていきたいと思っています。

時には市内の児童養護施設への出張子ども食堂として伺い、食事の提供を行ったり、市のイベントの際には唐揚げ屋さんを出店し子ども食堂を知ってもらう活動もありました。長年の活動の成果がようやく実になってきたと役員会での打ち合わせで話が上がっています。

(日進絆子ども食堂 理事 木田真代)



日進絆子ども食堂ファームの収穫体験